

平成31年1月

当科において今まで脳腫瘍に対する手術治療を受けた患者さんへ

【過去の腫瘍検体を研究へ利用することについてのお願い】

埼玉医科大学総合医療センター脳神経外科では、以下の臨床研究に参加しています。

「悪性脳腫瘍の新たなバイオマーカー及び分子標的の探索とそれらの臨床応

用に向けた多施設共同研究による遺伝子解析」

本研究は、今現在も治療が難しい脳腫瘍の発生にどのような遺伝子が関わっているか調べる目的で行われているものであり、脳腫瘍ゲノムの網羅的な解析を通して、新たな治療反応性バイオマーカーや治療標的分子を発見することを目指したものです。この目的のために、過去に当科にて脳腫瘍に対して手術を受けた患者さんのうち当院で保存している腫瘍検体の一部を本研究のために使用させていただきます。

本研究は埼玉医科大学倫理委員会、埼玉医科大学総合医療センター倫理委員会で審査を受け、学長と病院長の承認を得て行われます。

- 症例登録期間： 2011年1月1日から2026年3月31日（この間に手術を受けた方）
研究期間： 2017年1月1日から2026年3月31日
但し、これらの期間は、必要な手続を経て変更する場合があります。

- 基幹研究施設： 独立行政法人 国立がん研究センター研究所
〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1
TEL：03-3542-2511

○共同研究施設

埼玉医科大学国際医療センター/包括的がんセンター 脳脊髄腫瘍科
東京大学医学部 脳神経外科
獨協医科大学 腫瘍センター
杏林大学医学部 脳神経外科
東京大学先端科学技術研究センター ゲノムサイエンス部門
東北大学神経外科学

熊本大学脳神経外科
大阪大学脳神経外科
広島大学がん化学療法科
京都大学脳神経外科
九州大学脳神経外科
福岡大学脳神経外科
筑波大学脳神経外科
横浜市立大学脳神経外科
東京女子医科大学 脳神経センター脳神経外科
慶應義塾大学脳神経外科
日本大学脳神経外科
千葉県がんセンター 脳神経外科
東京医科歯科大学 脳神経外科
群馬大学 病態病理学
和歌山県立医科大学医学部 脳神経外科
関西医科大学 脳神経外科 教授
大阪市立総合医療センター 血液腫瘍科
自治医科大学 脳神経外科
埼玉県立小児医療センター 血液腫瘍科
大阪市立総合医療センター 小児脳神経外科
大阪医療センター 臨床研究センター再生医療研究室
大分大学 脳神経外科
岡山大学 脳神経外科
東京医科大学 脳神経外科
山形大学医学部 脳神経外科
兵庫医科大学 脳神経外科
藤田保健衛生大学 脳神経外科
国立病院機構信州上田医療センター 脳卒中・脳腫瘍センター
北海道大学医学研究科・医学部脳神経外科
金沢大学 脳神経外科
名古屋大学 脳神経外科
千葉大学 脳神経外科 准教授
京都医療センター 脳神経外科
福井大学 脳神経外科
大分大学 脳神経外科
新潟大学 脳神経外科
高知大学 脳神経外科
中村記念病院 脳神経外科
北野病院 脳神経外科
大阪大学 脳神経外科

奈良県立医科大学 脳神経外科
香川大学 脳神経外科
東邦大学医療センター 大橋病院 脳神経外科
札幌医科大学 脳神経外科
聖マリアンナ医科大学 脳神経外科
浜松医科大学 脳神経外科
大西脳神経外科病院 脳神経外科
弘前大学 脳神経外科
静岡がんセンター 脳神経外科
神戸大学 脳神経外科
滋賀医科大学 脳神経外科
防衛医科大学 脳神経外科
土浦協同病院 脳神経外科
福島県立医科大学 小児科
成育医療研究センター 小児がんセンター
埼玉医科大学 脳神経外科
神戸市立医療センター中央市民病院 先端医療センター
北里大学 脳神経外科
兵庫県立こども病院 脳神経外科
長野県立こども病院 血液腫瘍科
佐賀大学 脳神経外科
東京都立小児総合医療センター
長崎大学 脳神経外科
山口大学 脳神経外科
産業医科大学 脳神経外科
岐阜大学 脳神経外科 岩間亨
宇部興産中央病院 脳神経外科
順天堂大学 小児科 藤村純也
大阪国際がんセンター 脳神経外科
慶應義塾大学生理学教室
慶應義塾大学 先端生命科学研究所
山形大学医学部器官機能統御学講座腫瘍分子医科学分野
東京大学大学院医学系研究科細胞情報学分野
株式会社エスアールエル 技術開発部
慶應義塾大学医学部発生・分化生物学講座
慶應義塾大学医学部先端医科学研究所遺伝子制御研究部門
東京大学大学院理学系研究科
千葉県がんセンター がんゲノムセンター
京都大学 機能微細形態学教室
大阪大学 幹細胞病理学教室

東京都立神経病院 検査科

第一三共株式会社 癌研究所

第一三共 RD ノバーレ株式会社

シスメックス株式会社

株式会社理研ジェネシス

ライカ・マイクロシステムズ株式会社

Leica Biosystems, Amsterdam, The Netherlands

Department of Pathology, University of Cambridge

Institute of Molecular and Cell Biology, Agency for Science, Technology and Research,
Singapore

Institute for Neuropathology, University Hospital of Bonn, Germany

東京大学生産技術研究所

サーモフィッシャーサイエンティフィック

Thermo Fisher Scientific, South San Francisco, USA

The Hospital for Sick Children, Toronto, Canada

German Cancer Research Center (DKFZ), Heidelberg, Germany

Brain Tumor Research Center, Massachusetts General Hospital, USA

東京大学新領域創成科学研究科・メディカル情報生命専攻

大阪大学大学院医学系研究科遺伝統計学

- ・ 過去に採取された腫瘍検体の一部と臨床データを用いる研究であり、新たな検査や費用負担が患者さんに生じることはございません。また検体を使用させていただいた患者さんへの謝礼などもございません。
- ・ 使用する検体とデータは完全に匿名化し、個人が特定されないよう個人情報に関しては厳重に管理いたします。
- ・ 個々の症例に関する遺伝子・蛋白解析結果は、患者さんへは原則として開示をいたしません。腫瘍検体の研究利用の拒否を希望される方、あるいは何らかの遺伝カウンセリングを希望される方、は下記の連絡先へご連絡いただけましたらご案内申し上げます。
- ・ 研究成果は、学会や医学雑誌などの発表に使用される場合があります。この際も個人情報が公表されることは全くございません。
- ・ 研究に用いた検体等は本研究が終了する **2026年4月1日**以降も引き続き保存され、本研究の趣旨と合致する目的を持つ研究については、適切な手続き・審査を経て二次的に活用される可能性があります。
- ・ 研究成果においては、知的財産（特許などを想定しています）が生じる可能性もありますが、その権利は国立がん研究センターが研究参加施設を代表して管理することとなっており、検体をご提供いただいた患者さんには知的財産権はございません。
- ・ 本研究は、基幹研究施設における研究者が取得している公的研究費や民間の助成金、ならびに当科の研究費を使用して行われ、特定の企業や団体との利益相反はございません。

もし今回の腫瘍検体の研究利用につきましてご説明を希望される場合やご同意をいただけ

ない場合には、いつでもご遠慮なく下記の問い合わせ先までご連絡ください。
また、当然のことながら、同意の有無が以後の治療などに影響することは全くございません。

【問い合わせ先】

埼玉医科大学総合医療センター 脳神経外科 教授 大宅宗一

埼玉医科大学総合医療センター 脳神経外科

〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

TEL: 049-228-3400 (代表) FAX: 049-228-3671